



ノアと箱舟

アダムとエバの子孫は、どんどん増えていきました。

大勢の人たちは、神様に従うのをやめて、悪いことを始めました。人々がおたがいに 対してひどいことをしているので、神様は とても 悲しく なりました。これでは、神様が 人々のために ご計画されたような、愛に 満ちた 幸せな 生活を送ることは できません。神様は、悪事を行っている 人々を 止めようと 決意しました。

ただ一人、神様を愛し、良い行いをしていた人がいました。ノアという人です。神様は ノアに、大きな 船を作るように と言いました。そして、ノアと妻と 3人の息子たちとその妻たち、それに 地上の 動物や 鳥たちから 選ばれたものを、その船に住まわせるように 言われたのです。また、これから 地上全体を おおうような 大きな洪水が 来るので、長い間 食べていけるだけの 十分な 量の 食べ物も 蓄えるように とも言われました。

箱舟と呼ばれる その大きな 船を作るには、何年もの 年月を 要しました。洪水が来る 前に その 準備をするのは、ノアと ノアの 家族にとって、大仕事 となりました。

創世記の 第6～8章には、ノアと その 家族に 何が 起こったのかが くわしく 書かれていますので、読んでみましょう。